

行政評価シート【分野別施策】

分野別施策 4－④

まちづくりの拠点形成を推進する

目指す姿

- 平塚駅周辺地区はリビングのような誰もが気に入りの空間や体験を見つけることができるまちづくりが進み、ツインシティ大神地区が県の南のゲートになるよう成長していくとともに、西部地域は自然環境と調和した地域づくりが進み、それぞれが連携した拠点となっています。

成果指標の達成状況

指標名	実績値					目標値
	計画 策定時	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2027 年度
平塚駅周辺における共同建て替えの相談件数【累計】	—	4 件	4 件			4 件
ツインシティ大神地区土地区画整理事業の進捗率	75%	99%	100%			100%
西部地域における地区まちづくり協議会との意見交換の実施回数	6 回	10 回	8 回			6 回

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・「平塚駅周辺地区将来構想」の実現に向け、道路や公園等の再整備とエリアマネジメントの推進に係る事業内容等を整理し、「平塚駅周辺地区みんなのリビングロードマップ」及び「都市再生整備計画」を策定しました。また、平塚まちなか活性化隊の支援を通じて、官民連携したまちづくりへの環境醸成を図りました。
- ・ツインシティ大神地区土地区画整理組合に対して支援をすることで、地区内の公園工事など、都市基盤の整備を進めました。
- ・南北都市軸におけるバス路線のうちツインシティ大神バス停に停車する便について、令和7年度も安定して日常の移動に利用されました。また、連節バスについては、路線バス運行事業者と協議を継続し、需要の高まりにあわせて導入を検討することとしました。
- ・「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」を含む産官学民の協働で、地域資源である里地里山を保全・再生するための検討を進め、協議会が策定した地区まちづくり計画を認定しました。また、協議会が主体となって開設した農作業学習体験農園の運営を支援しました。

施策を推進する上での「課題（・）」と、課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・平塚駅周辺地区では、にぎわいの創出と利便性を高め、人が集まり居心地の良いまちにする必要があります。
- ⇒「平塚駅周辺地区将来構想」の実現に向けて策定された「平塚駅周辺地区アクションプラン」を活用し、官民で連携して持続可能なまちづくりを進めます。
- ・ツインシティ大神地区では、環境共生都市に向けたまちづくりが進んでおり、神奈川県南のゲートとしての交通拠点の価値などを高める必要があります。
- ⇒土地区画整理組合などと連携し、環境に配慮した住宅を推進するほか、道路2軸などの整備要望と新幹線新駅の誘致活動に取り組みます。公共交通については、需要や交通状況に応じて、バス事業者、道路管理者及び交通管理者と協議・調整します。
- ・西部地域では、恵まれた自然を活かしながら地域の活性化を更に進める必要があります。
- ⇒引き続き地域や学術機関等と連携して地区全体の魅力を発信するとともに、「地区まちづくり計画」に掲げる施策について、関係機関等との協議、調整及び実現に向けた支援を進めます。

関連事業

ツインシティ整備推進事業、南北都市軸への新しい公共交通導入事業、西部丘陵地域資源まちづくり支援事業、駅周辺地区活性化推進事業、フェスタロード・オフィス開設支援事業